

コロナ禍の今こそ、 仕事を楽しむ気持ちを大切に！ ～補助金を獲得して新規事業にチャレンジ～



今回は、コロナ禍において自社のビジネスを見直し、新たなチャレンジを始めた企業についてお話しします。

「西端さん、今日少し時間ありますか？」コンサルタントを担当している企業（M 社）の社長から、朝一番でそんな連絡が！ 普段から元気な声が特徴の社長ですが、その日はいつも以上に力強さを感じました。

さっそく午後、社長のところへ。電話では、“相談がある”としか聞いていませんでしたが、私はおそらく「新規事業のことではないか？」とっていました。先日打ち合わせで訪問した際、社長がふと「そろそろ、本気で新しいことを始めないと……」と呟いたのを聞いていたからです。

新型コロナウイルスの感染拡大から、早 1 年。多くの企業は何らかの影響を受け、今なお、この状況と戦っている方々もいます。M 社は現在、危機的な状態ではないものの、対策を講じる必要がありました。

いつもの会議室に通されると、社長はすでに席に着いていて、補助金の公募要領を眺めていました。

「ここ最近、ずっと考えていたんだけど……。今のメイン事業だけでは市場がなかなか広がらないし、今後も拡大するのは厳しいと思う。だから、今回の補助金を活用しない手はないと。以前から構想を聞いてもらっていた新規事業、あれにチャレンジしたいんだけど、西端さんどう思う？」

私はすぐ社長の考えに賛同し、実現のために全力で取り組みたいという気持ちを伝えました。私

が即答した理由は、補助金申請のタイミングと重なったということもありますが、それだけではありません。社長が話をしてくれた際、今までになく、とても楽しそうな表情をしていたのです。

新しいことを始めるには、それだけパワーも必要となるでしょう。ただ、ベースに“楽しい”という気持ちがあるだけで、今まで以上の力を発揮し、たとえ問題に直面しても、それを乗り越えられることもあります。私自身も、社長のやる気に満ちた姿を目にしたことで、一緒にチャレンジしたいという強い気持ちを持ちました。

その後、直近で公募がある補助金の申請を行うことに！ 無事に補助金を獲得することができれば、新しいビジネスが実現します。補助金申請には事業計画書の作成が必要となるため、さっそく翌日から打ち合わせがスタートしました。数値的な根拠といった細かい事柄も確認しながら、具体的な取り組みなどを中心にヒアリングを進めてゆきます。

数週間後、無事に補助金の採択が決定した M 社は、新規事業に向けて走り出すことができました。社内では新たなチームが発足し、リーダーを中心に日々開発が進められています。

中小企業診断士は、社長の頭の中にあるイメージを組み立て、形にするといった役割があります。今後とも会社の強みはもちろん、社長の中にある“楽しい”を引き出しながら、それを生かした経営戦略をともに考えてゆけたらと思っています。（中小企業診断士 西端 望）

